様式３（2020.08改）

作成日　令和　３年１２月１０日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392500316
事業所名	グループホーム笑顔の泉

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	地域の認知症対応型共同生活介護の事業所の有志が集まり「春日井施設SV部会」と命名したグループを結成、事業所間なもののあらたな地域とのつきあいが始まっています。LIFEやBCP、看取りなど事業所継続の要となる事柄において情報共有を図るとともに、団結することで春日井市のサポートをスムーズに得ようという心づもりもあり、今後の展開が楽しみになっています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は書面開催と成っています。1階、2階のユニットリーダーと管理者とで集まってリーダー会議をおこなう折に2ヶ月分の運営状況を集約、そのうえで管理者が介護支援専門員と確認しあって書面化に至っています。利用状況データ、コロナウイルスの現状と対策、利用者と家族の声、今後の展望、研修報告が掲載された議事録は市役所、下条区長、地域包括支援センターに届けています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	春日井市からのメール配信は都度確認して、現状を把握するようにしています。運営推進会議を通じて地域包括支援センターは身近に相談できる存在となり、コロナが落ち着くと、「そろそろ参会の運営推進会議を…」と迷う管理者が他の事業所の状況を教えてもらえています。「まだやっているところは少ないね」と最新の状況が入り、助けられています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	「会いたい」家族の想いを十二分におもんばかり、管理者が一人ひとり聞き取り確認をおこない、利用者本人の状態とコロナの状況を鑑みて、ギリギリ許容できるラインを個々に決めています。そのため看取りでも「1ヶ月に1回は顔をみてあげてください」と逢瀬が叶っています。利用者はストレスが心配なため散歩は早々に再開させ、牛丼・カツ丼・海鮮丼のテイクアウトをはじめとするコロナ対策と併走した娯楽を追求しています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									